岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　一般県道　竹原吉名線　道路改良事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	B-2	調査位置	竹原市吉名町掛之浦	北緯	34° 19′ 14.5681″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	令和2年12月25日～ 令和2年12月28日	東経	132° 52′ 26.9695″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 36.01m	角度	180°(上) 90° 0°(下)	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	13.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1 / エンジン：ヤンマーNS110 / ポンプ：東邦BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	記事
	35.11	0.90	SF	砂質土	茶褐～黄褐							微細砂～細砂を主体とし、粘性土を含有する。GL-0.6m以浅は木根を混入する。
1～6	30.01	6.00	RF	流紋岩質凝灰岩	褐灰	w5	h3	E	Ⅵ	d	D	高田流紋岩類。岩組織は認められるが、指圧により容易に砕け、概ねシルト質微細砂状を呈する。下位に従い、粗砂～細礫状の粒子がみられる。亀裂箇所が認められるが、土砂化して不明瞭である。GL-5.9～6.0m付近に脆い部分が認められる。岩級区分：DL級（砂質土）
7～13	23.01	13.00	RF	流紋岩質凝灰岩	暗緑灰～黄褐灰	w5	h3	E	Ⅵ	d	D	高田流紋岩類。岩組織と亀裂が明瞭に認められる。亀裂角度は60°程度で、直角方向にも同様な亀裂がみられる。亀裂面は暗褐色を呈する。GL-6.0～9.0m付近は礫混じり中～粗砂状を呈する。GL-9.0m以深は概ね径20～40mm程度の硬質な角礫状を呈する。GL-11.0m以深は所々に黄褐灰色の脆い部分がみられ、微細砂～シルト状を呈する。岩級区分：DH級（軟岩I）

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

孔内水位／測定月日：1/5 8.94

標準貫入試験 深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	1.15	9		
	1.45	300		
10	2.15	10		
	2.45	300		
16	3.15	16		
	3.45	300		
11	4.15	11		
	4.45	300		
13	5.15	13		
	5.45	300		
50以上	6.15	50	160	
	6.31	160		
50以上	7.00	50	170	
	7.17	170		
50以上	8.00	50	140	
	8.14	140		
50以上	9.00	50	110	
	9.11	110		
50以上	10.00	50	90	
	10.09	90		
50以上	11.00	50	70	
	11.07	70		
50以上	12.05	50	140	
	12.19	140		
50以上	13.00	50	40	
	13.04	40		

原位置試験

室内試験	削孔月日	削孔速度（cm／h）	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧（MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	削水・送水量（L／min）	排水量（L／min）
3.15 含水量 粘度	12/26		66／ケーシング	S／MC					
3.45									
7.00 含水量 粘度									
7.17	12/28		66	D／MC					